

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 53
平成31年 2月1日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

寒さに負けない、心も体も強い子であれ ～ 自分の人生を自分の手で開く ～

校長 谷口 道行

年末に降った雪もすっかり解け、1月20日頃は、校庭で子供たちがサッカーをする姿が見かけられました。この時期の山陰には、なかなかない光景です。ただ、先週末は積雪があり、本来の八東らしい冬景色が戻ってきています。

3日は節分、4日は立春。暦の上では「春」の言葉がつきますが、寒さはこれからが本番です。インフルエンザの流行もこれからが本番です。各家庭での予防への配慮を宜しくお願いします。

さて、先日、子供たちにいつもの「エートリ君アンケート」を実施しました。今回は、いつものアンケート記述欄に、「みなさんは、どんなことが苦手ですか。勉強でも、運動でも、生活でもなんでもいいです。」と書きました。

毎回、校長自らが全校児童のアンケートを集計し、記述欄も整理しまとめています。一人一人のアンケートを読むのは、楽しい時間です。今回の子供たちのアンケートには、いろいろな「苦手」なことが書いてありました。「勉強・運動・生活」と、いろいろな苦手があがっていました。中には、「なし」と書いていた子もいました。一人一人の「苦手」を読みながら、子供たち一人一人の姿を思い起こしていました。

(詳しくは、ホームページの「校長室より」の全校集会のスライドに掲載しておきます。)

ところで、私自身もちろん子供の頃は、ずいぶんとたくさんの苦手がありました。「〇〇が苦手だ。」と漏らしていると、父から「苦手から逃げても何も変わらなぞ。1個の苦手が2個に、3個に増えていくだけだぞ。苦手だらけになるぞ。」そんなことを良く言われました。確かにそうです。「苦手」は、考え方によっては、克服すべき・解決すべき課題がはっきりしていることだと言えます。実は、「苦手」には、こんな意味もあります。「大辞林」には3つの意味があります。その③番目に、「③爪がにがく、手に毒のあるという手。その手で不思議な力があり、その手でおさえると腹の痛みが消えるという。(「大辞林」より)。「苦手」は、「不思議な力のある手」です。

(ちなみに、「広辞苑」では、①番目の意味として示されています。)

「苦手」の反対語は、「得手」です。「苦手」は、「得手」にも成ると思います。実は、私自身子供の頃、水泳が苦手でした。小学校低学年の頃には、川で溺れそうになったこともあります。でも、苦手を克服しようと努力していたら、「水泳」が得意になり、好きになりました。大学時代は、水泳の実技の講義を余分でとったくらいです。今でも、水泳は大好きです。

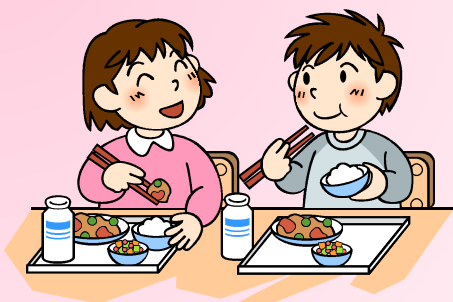
「苦手」から逃げれば、「苦手」が増えるだけ。「苦手」を「得手」に変えるには、逃げないことです。立ち向かうことが大切です。そう思います。

この冬、イギリスのサミュエル・スマイルズが1858年に出版した「自助論 Self-Help」という本の日本語訳本(訳:竹内 均)を読みました。実は、この本は明治4年に中村正直が「西国立志編」というタイトルで翻訳し、福沢諭吉の「学問のすすめ」と同じくらい、広く明治時代の青年たちに読まれ、当時では破格の100万部も売れた本です。この本には、西洋の様々な人物の失敗体験・成功体験を交えた生き方が書かれています。300人近い人の話が書かれています。

そこに一貫して流れているのは、「人生は自分の手でしか開けない」という考え方です。「人生の様々な試練に、逃げることなく、向かっていき、自分の人生は、自分で切り開く」。それが、「自助」という考え方です。

アンケートに書かれた子供たちの様々な「苦手」を読みながら、これから先の時代に生きる子供たちに、逃げることなく困難に立ち向かってほしいと願います。将来の自分の夢に向かって、「自分の人生を自分の手で開く」そんな気概を、少しでも持ってくれればと願います。激しい時代の流れの中、予測不可能な時代に生きる子供たちに、「自助」心や姿を伝えたいと思います。それがそのまま、困難に負けることなく、立ち向かっていく八東小学校の「やりぬく子」の姿です。

全国学校給食週間



1月24日から1月30日までが、全国学校給食週間とされています。これは、学校給食記念日が12月24日とされていますが、多くの学校が冬休みと重なるため、1ヶ月遅らせ、今のようになっているようです。

さて、八東小学校では、給食週間にちなんで次のようなことをしました。

- ①給食センターから給食ができるまでのビデオを頂き、それを各学級で視聴し、給食指導に生かした。
- ②給食に関する本を図書館で選び、読み聞かせを行った。
- ③給食に関するクイズを出し、全校で楽しんだ。
- ④ALTのニコール先生に日本の食事についてインタビューをし、外国との違いを聞く。
- ⑤給食ランキングを調べる。

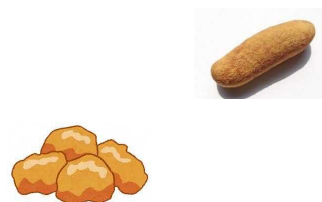
【全国調査ランキング】

- ①カレーライス
- ②唐揚げ
- ③ハンバーグ



【八東小ランキング】

- ①カレーライス
- ②揚げパン
- ③唐揚げ



全国と比べ大きな違いはありませんでしたが、揚げパンが入ったのは八東小学校の特徴でした。皆様は、どんな給食が好きでしたか。子供たちと一緒に話に花を咲かせられてはどうでしょう。

さて、給食には大きな役割があります。食事のマナーを身につけたり、バランスの良い食事を摂ることで丈夫な体をつくったりすることができます。友達や先生との心のふれ合う場にもなります。

「食」・・・人によい。人を良くする。胃袋だけでなく、心も満たし、人と人をつなぎます。

「育」・・・月は肉月ですので肉体を表します。その上に胎児が逆さになっている様子を表しています。食べ物が体をつくるということを表しているそうです。

給食は、食育を通して自己管理能力を育てるのが大きな目標です。

おめでとうございます

【1月 ノートチャンピオン】

- | | | |
|----|----|-----|
| 1年 | 山本 | 洵 |
| 2年 | 森田 | 芯 |
| 3年 | 中田 | 多笑 |
| 3年 | 坂本 | ゆりか |
| 4年 | 野崎 | 滯 |
| 5年 | 林田 | 彩乃 |
| 6年 | 横野 | 佳奈 |
| 6年 | 中村 | 美優 |



4年 森林学習

昨日、4年生は徳丸にある「八頭中央森林組合加工場」と「若桜木材協同組合」に、森林学習の一つとして見学に行きました。

八頭中央森林では、森林の重要性について教えていただきました。日本は、国土の約70%が森林におおわれています。緑豊かな森林のおかげで、環境が守られ、豊かな水を得ることができます。野生生物のすみかにもなっています。しかし、近年、林業に従事する人が少なくなり、間伐等ができず、山が荒れ始めています。山を守ることの大切さを教えていただきました。

若桜木材では、山で切り出された木材を製材する様子や加工する様子を見せていただきました。

見学を通して、身近な森林について少なからず興味・関心が持てたことと思います。

